



国際的な忍者研究の拠点が開設。



三重大学 国際忍者研究センター

Mie University International Ninja Research Center

日本はもとより今や世界で知られる“Ninja”だが、今まで学際的な研究が深められてはこなかった。

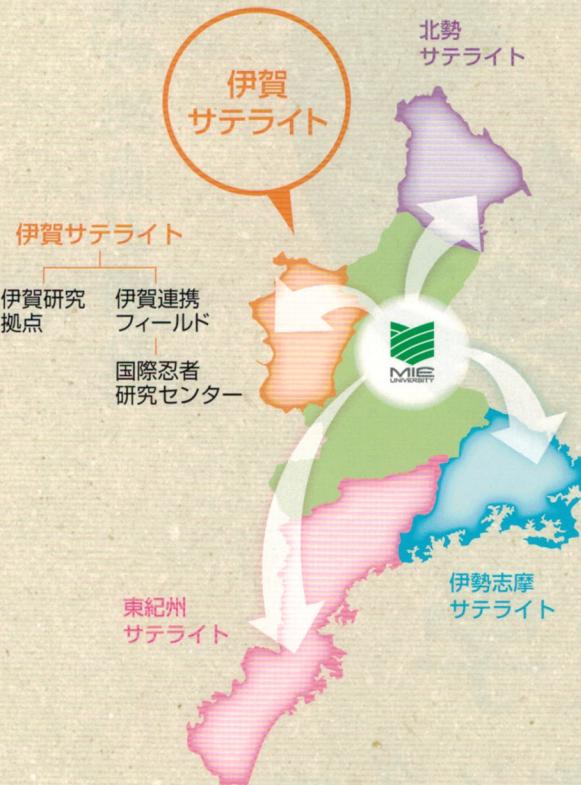
2017年7月に三重大学は「国際忍者研究センター」(三重県伊賀市)を設立。

学際的・国際的に忍者の研究に取り組んでいきます。



地域拠点サテライトは、三重大学の教育研究力の強化を図るとともに、三重大学の教育研究成果を活用して地域創生に資することを目的とするものです。三重県内を地域の特性に合わせて区分し、各地域には自治体施設を活用した「地域サテライト」を設置しています。伊賀サテライトでは、忍者・医薬品・森林資源等の分野を通じて、伊賀地域の固有文化と地域資源の活用による地域再生に寄与します。伊賀サテライトの国際忍者研究センターでは、伊賀地域とともに、忍者の歴史と文化の研究・普及を発展させてまいります。地域の皆様に信頼され頼りにされる大学を目指してまいります。今後とも、ご協力・ご支援をいただきますようお願いいたします。

国立大学法人三重大学学長 駒田 美弘



三重大学 国際忍者研究センターの目的

三重大学国際忍者研究センターは、伊賀サテライトの一部をなす伊賀連携フィールド（三重大学人文学部・上野商工会議所・伊賀市の連携により設立）に所属しています。忍者の学術的研究を通じて、日本の文化および伊賀地域の発展に寄与します。古文書における実在としての忍者、小説・漫画・映画におけるフィクションとしての忍者など、忍者を多角的・実証的に研究します。

■ 地域拠点サテライト

地域拠点サテライト構想は、三重大学の教育研究成果を活用して地域創生に資することを目的とするもので、様々な活動を展開するうえで三重県全体を教育研究フィールドと位置づけています。地域拠点サテライトは、北勢サテライト・伊賀サテライト・伊勢志摩サテライト・東紀州サテライトの4つで構成されています。国際忍者研究センターは伊賀サテライトに属しています。

具体的な活動

- ①伊賀地域を中心として、忍者に関する教育研究を推進します。
- ②その成果を広く国内外に発信することにより、国際的な忍者研究の拠点としての機能を備えます。
- ③伊賀地域の地域創成に貢献します。



センターの業務

①忍者に関する学術的・学際的な研究活動

- 忍者に関する調査研究
- 忍者に関する史料の情報収集とデータベース化
- 忍術書の内容の科学的分析
(伊賀サテライト伊賀研究拠点との連携)

②忍者研究を基盤とした教育活動

- 大学・大学院での忍者学に関する講義と演習
- 伊賀連携フィールド市民講座
(「伊賀忍者古文書講座」「忍者・忍術学講座」)
- 世界・日本各地への忍者学に関する出講

③忍者に関する学術的な情報交流と情報発信活動

- 国内外の忍者研究に対する交流と支援
- 国際的ネットワークの形成
- シンポジウムの開催
- ホームページ・パンフレットの作成



三重大学人文学部は、2012年に、上野商工会議所と伊賀市とともに「伊賀連携フィールド」を創設し、その活動の一部として、伊賀地域を中心とする忍者文化の研究に取り組んできました。こうした活動を基盤として設置された「国際忍者研究センター」は、忍者関連の研究教育活動の拠点であり、世界的にみても他に類例がない、独創的な研究センターです。「国際忍者研究センター」は、国際的な情報発信、学術的な活動を進めると同時に、それを地域づくりにも結びつける新たなモデルの形成を目指しています。世界で通じるNinjaをキーワードにして、センターの活動を今後広く展開していきたいと考えております。皆様のご支援をお願いいたします。

国際忍者研究センター センター長 安食 和宏



センターの構成員

国際忍者研究センター センター長（人文学部長 人文学部教授）
安食 和宏（あじき かずひろ）

国際忍者研究センター 副センター長（人文学部教授）
山田 雄司（やまだ ゆうじ）

国際忍者研究センター 兼務教員（人文学部准教授）
吉丸 雄哉（よしまる かつや）

国際忍者研究センター 准教授（人文学部兼務教員）
高尾 善希（たかお よしき）

国際忍者研究センター 研究員
Kubasov Fedor (クバーソフ・フョードル)



国際忍者研究センター

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内500

TEL・FAX 0595-51-7154

ninja@rscn.mie-u.ac.jp